The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

April ISSUE

April, 2023
Volume 133

コロナが子どもに与えた影響を振り返って

今年は例年よりもかなり早いスピードで桜が開花し、３月中に満開を迎えてしまいましたが、暖かい春の訪れとともに、穏やかな新年度のスタートを切ることができました。この１年間も本校の教育水準や安全管理体制等をより一層高められるように、教職員一同、鋭意努力してまいりますので、変わらぬご厚情を賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、振り返ってみれば、この３年間は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の大流行によって、学校の行事や児童の日常生活、精神的健康、体力・運動能力等に、様々な支障や弊害が生じてしまいました。

厚生労働省の感染者動向によると、今日までの国内感染者数は約 3,340 万人で、今の日本の人口は約１億 2,400 万人ですので、おおよそ４人に１人がコロナに罹ったことになります。

また、死亡者数は約 73,800 人で、本校がある木津川市の人口が約８万人ですので、木津川市民に近い数の方が、不幸にもお亡くなりになられたことになります。世界の死亡者数は約 680 万人で、戦争でも、震災でもなく、目に見えないウイルスという生き物によって、これだけたくさんの人の命が奪われてしまいました。自然の脅威、逆に言えば人間の脆さ、命のはかなさ等を今回のパンデミックから思い知らされました。

しかし、日本における死亡者数を年齢別に見てみると、10 歳未満の子どもは、男女合わせて約 40 人です。国内で亡くなってしまった人の約９割は、免疫力の低い 70 歳以上の高齢者なのです。

また、ある研究データによると、10 歳未満の子どもの COVID-19 オミクロン株の死亡率は、季節性インフルエンザの約 1/3 と言われています。これらのデータからすると、今年の５月８日以降、COVID-19 は２類感染症から５類感染症へと移行し、季節性インフルエンザ等と同様の対応になりますが、子ども達にとっては、マスクの着用を意識しなくても、今まで身に付けた手洗いやうがいなどの習慣をしっかり励行すれば、コロナ禍以前のような学習活動や日常生活を送れることになります。ただし、お年寄りがたくさん集まる病院や施設などに行く際には、引き続きマスクも着けて、感染対策には十分に留意する必要があります。

コロナが子どもの精神面に与えた影響を感染拡大下の自殺死亡率の変化から見てみると、特に女子中学生・高校生の上昇が目立ちました。自殺の原因・動機については、学校問題や家庭問題、健康問題に該当する者が大きく増加していました。抑うつ症状が重症の子どもほど、周囲に相談しない（できない）ことが示されており、コロナに限らず、子どもの心のケアは身近な家族は元より、学校、地域等とも連携して対応する必要性をあらためて心に深く刻みました。

また、コロナが体力・運動能力面に与えた影響については、スポーツ庁の報告によると、体力テストの合計点が 2019 年度以降低下し、2008 年度の調査開始以来、小・中学校の男女ともに過去最低になってしまいました。特に小・中学校男女の 50m 走、20m シャトルラン、中学校男女の持久走、上体起こし、反復横跳びが低下していました。運動時間がコロナ禍以前の水準に戻っていないことや肥満の増加、生活習慣の変化などが主な要因ですので、活動制限がより緩和される今年度からの巻き返しを大いに期待したいと思います。

校長　柳田　昌彦

同志社国際学院初等部
〒619-0225 木津川市木津川台 7-31-1

Doshisha International Academy Elementary School
7-31-1 Kizugawadai, Kizugawa City 619-0225
http://www.dia.doshisha.ac.jp

キリスト教 教育テーマ
4 月：希望　April：Hope

「いと高き方を隠れ場とする者は全能者の陰に宿る。」

（詩編 91 章 1 節　聖書協会共同訳）

今年の 2 月初旬、京阪奈記念公園の水景園という場所で「公園の写真展」があり、知人の誘いで見に行ってきました。カメラ愛好家の方々が、何気ない日常の風景の中に自然の美しさや面白さを感じ取り、それを風景写真として切り取って作品にされたものです。一つ一つの写真から撮影者の思いが伝わって来るようで、とても楽しいひと時でした。

少し歩いて行くと、ある写真のネームプレートに目が釘付けになりました。何だか見覚えのある名前だと思ったら、なんと本校教育サポーターの A 教諭ではありませんか！聞けば、A 教諭はこの写真展で一つの作品が見事入賞を果たしたのだそうです。

A 教諭の作品は 2 枚あり、1 枚目は「陽光」というタイトルの写真でした。暗い竹藪の中に太陽の光が射し込んでいる様子が、幻想的に撮影されています。

そして 2 枚目が「陽春」というタイトルの写真で、入賞したのはこちらの方の作品だそうです。この写真には春の桜に太陽の光が思い切り降り注いでいる様子が巧みに捉えられていて、実は私自身、この写真には一目で惹きつけられてしまったのでした。

この写真のユニークさは、満開の桜そのものではなく、その桜を照らしている太陽の光がテーマになっているところではないかと思います。前方の地面一杯に広がっているのは、太陽の光を浴びた桜の大樹の「陰」です。桜の木々は遠くの方に並んで花を咲かせていて、ともすると「あっちの方の道は綺麗だなあ…」と思わせる仕掛けになっています。でも、もしその人が自分のすぐ後ろを振り返ると、そこにはもっと樹齢の大きな桜の木があって、自分の頭上に夥しい桜の花が降るように咲いていることに気が付くことでしょう。遠景ばかり見ていると、すぐ前の道には桜の木の陰しか見えません。この写真の桜の木の陰の、幹の根元の部分をよく見ると、幹と一体化した撮影者 A 教諭自身の陰が写っているのがわかります。

こんな風に、私たちもいつもは神さまの太い幹の傍にいて、まるで満開の桜の花びらみたいに神さまの恵みを受けているのですが、なかなかそのことに気が付きません。時折、角度を変えて振り返ってみましょう。そしてどんなに立派で素晴らしい桜の陰にいつも自分がいさせて頂いているのかを、思い出してみようではありませんか。

※この原稿は 2023 年 2 月 20 日の朝礼拝で行ったメッセージに加筆・修正したものです。著作権保護のため、A 教諭の写真掲載は割愛させていただきました。

Christian Education Committee　チャプレン　石川眞弓

＜お知らせ＞

・2022 年度の「おにぎり献金」の寄付先と献金額の報告は、春学期中にこの欄にてお知らせ致します。
・2023 年度の「おにぎり献金」の一部は昨年度の寄付先に加え、トルコ・シリア大地震の被災地へも検討中です。皆さまの温かいご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

Good luck with your next stage!
～別れと新しい出会い～

Go, go, go in peace. Be strong! Mysterious Hand guide you!

行け、行け、心安らかに行け。
強くあれ。
神の見えざる手が君たちを助けてくれる。

これは、新島襄先生が同志社英学校第１回卒業式で卒業生に向けて述べた言葉です。新しいステージに進むことは、期待でわくわくするのと同時に、心配や不安も大きくなるもので、そんな卒業生の気持ちに寄り添った新島襄先生の言葉は、何だか背中を押してくれる心強さを感じます。

先月１７日に、５８名の６年生が DIA を卒業しました。多くの保護者と教職員に見守られながら、子ども達は小学校最後の日を堂々とした姿で羽ばたいていきました。卒業式では、歩き方や証書を受け取る所作、立ち姿や挨拶など、凛とした姿を見せ、宣言文では将来の抱負を声高らかに述べる姿に、大きな成長とたくましさを感じました。

いよいよ、春の日差しが心地よい４月に入り、進級・進学と新たな環境にて新しいことが始まります。ワクワクすると同時に、少しの不安やさみしさも感じる頃です。そんな時には、新島襄先生の言葉の通り、心穏やかに健やかにすべての事を楽しさに変え生活してほしいものです。たまには、肩の力を抜きながら、未知の世界へ飛び込んでいってください。そして、新しい友達や先生との素敵な出会いに感謝し、また新しい経験をどんどん積んでいってほしいと思います。

さあ、今年も卒業生・在校生、関わってくださったすべての人が DIA イムズを持って大きく飛躍することを楽しみにしています！

いよいよ新年度のスタートです！

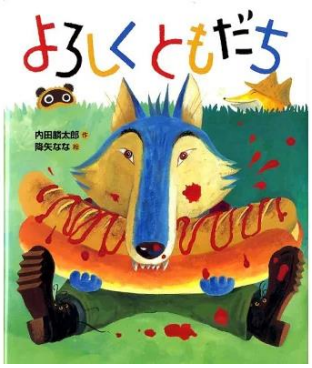
Go, go, go in peace. Be strong! Mysterious Hand guide you!

DIA LIBRARY からのおしらせ

4月のテーマ「新しい出会い」

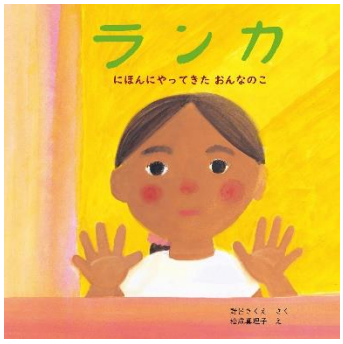
進級、進学での新しい出会いは、ワクワクすると共にドキドキ緊張することもあるでしょう。そんな時期にぴったりの、さまざまな出会いをテーマにした本を紹介します！

『よろしくともだち』内田麟太郎/作　降矢なな/絵　偕成社



『ともだちや』に始まるシリーズ 11 作目。みんなと友達になりたいコダヌキくん。でもオオカミが怖くてなかなか一緒に遊べません。それを知ってショックを受けたオオカミですが、コダヌキくんと友達になりたい！と自分に出来ることを探して一生懸命努力します。さて、どうやって友達になれたのかな。

『ランカ　日本にやってきたおんなのこ』野呂きくえ/作　松成真理子/絵　偕成社※近日図書室に入荷予定の本です。



遠い国からやって来て、日本の小学校に通い始めたランカは 10 歳の女の子。まだ日本語はまったく分かりません。ある日、ふるさとを思い出して木登りをした際、クラスメイトの男の子に足をつかまれて泣き出してしまいます。すると、足をつかんだ男の子も泣き出したのです。このとき、何かがランカに伝わりました。

『ワンダー』　R・J・パラシオ/作　ほるぷ出版

主人公のオーガスト・ブルマンは、生まれつき顔に障害がある男の子。10 歳にしてようやく学校に通えるようになった彼を、同級生達は恐れて避けますが…。逆境に負けない主人公と、彼を支える周りの人達、特に校長先生が素晴らしい！映画化もされた、心温まる名作です。

4月の主な行事・予定

1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	編転入生オリエンテーション/ Orientation for transfer students
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	Unit1(week1)始業礼拝(午前授業)
11	火	
12	水	入学式/ Entrance Ceremony G1 オリエンテーション期間(19日まで)
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	Unit1(week2)
18	火	
19	水	
20	木	避難訓練/ Evacuatin Drill, G5 参観・コミュニケーションタイム/ Open class & Communication Time
21	金	G6 参観・コミュニケーションタイム/ Open class &Communication Time,
22	土	
23	日	
24	月	Unit1(week3) G4 参観授業・コミュニケーションタイム /Open class & Communication Time
25	火	G3 参観授業・コミュニケーションタイム /Open class & Communication Time
26	水	G2 参観授業・コミュニケーションタイム / Open class & Communication Time
27	木	G1 参観・コミュニケーションタイム/ Open class & Communication Time
28	金	
29	土	昭和の日/ Showa day
30	日	

5月の主な行事・予定

13	土曜参観/きずな会総会
17	午前中授業
19	健康診断
20	第 1 回学校説明会（登校日）
22	休校（20 日の代休）
23~29	中間カンファレンス（午前授業）